

4.6 分析対象種の確認状況の経年比較

分析対象種の確認状況の経年比較（その1）

凡例 ◎●：確認、×：未確認、-：1～3巡目調査は河川環境データベースに調査データが未格納、4巡目調査は調査未実施

(薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。) 1月1日現在における河川水位は、河川地理簿によれば、(1)に掲載されている調査データを基にした

河川環境データベース上に格納され、それを用いて現状調査データを組み合わせて、各河川の水質状況を把握する。

注3) 1～3巡目調査の区分については、原則として1巡目調査：平成3～7年度、2巡目調査：平成8～12年度、3巡目調査：平成13～17年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡回の区切りは調査実施年度の欄に記した。

分析対象種の確認状況の経年比較（その2）

凡例 ◎●：確認、×：未確認、-：1～3巡目調査は河川環境データベースに調査データが未格納、4巡目調査は調査未実施

（薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。）

^{注1)} 1～3巡回調査のデータは、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。

注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は一級河川の直轄区間とし、指定区間および二級水系は対象外とした。